



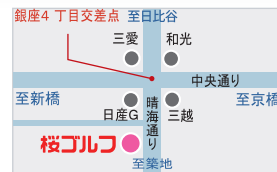
株式会社 桜ゴルフ

東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)

銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



23年4月の価格帯別相場推移

価格帯	1~3月	4月					年初比
		1週	2週	3週	4週	月間	
1000万円以上	2.9	▲0.2	▲0.3	0.2	▲0.2	▲0.5	2.4
500万円以上	2.6	0.3	0.5	0.2	0.2	1.3	4.0
300万円以上	3.1	0.5	1.1	1.2	▲0.2	2.7	5.8
150万円以上	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.6	0.9
70万円以上	0.1	0.3	0.1	▲0.3	0.7	0.8	0.9
70万円未満	1.4	0.2	0.1	1.2	0.3	1.8	3.2
平均	2.4	0.0	0.1	0.3	0.0	0.4	2.8

(名変諸費用含む価格帯、%) 桜ゴルフ総研調べ

今年初の会員権市場は値上がりが続いています。4月の関東平均相場は+0.4%と続伸し、年初から4カ月で2.8%の値上

ゴルフシーズンたけなわ
4月相場は順調に推移



草分けとしての使命をー
佐川 八重子

～23年4月相場のポイント～

- 年初から4カ月続伸し平均相場は2.8%の上昇
- 1000万円以上を除く全ての価格帯が値上がり
- 300万円以上は+2.7%と突出、昨年の鈍化から反転
- 法人は予約の取りやすい名門、個人はお手頃が人気
- リゾートコースの買い目立つ、特に沖縄のコースが品薄

～相場性商品の指数推移のポイント～

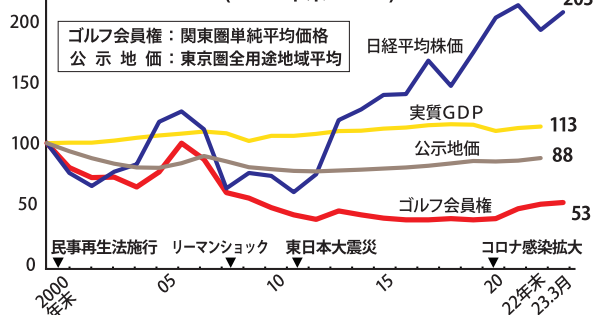
- ゴルフ会員権の指数(2000年末=100)は53へ回復
- コロナ禍でのゴルフ人気を背景に大底を脱する
- しかし、株価・地価に比べ依然として評価は低水準
- 民事再生法施行を契機とする相次ぐ法的整理響く
- 会員の権利保全や諸費用の軽減で魅力の向上を

入会相談が殺到するでしょう。今年もG・W明け以降、プレ

4月の注文も売り1に対し買いが1.2と順調です。法人は予約の取りやすい名門を引き続き物色しており、我孫子・大根・厚木国際が人気です。個人は総額100万円の予算で安定的に買いが入っています。

1000万円以上では、相場が過熱した銘柄の反動で値下がりしたものの、他の価格帯は全て値上がりしました。特に、300万円以上が+2.7%と高い伸びを見せ、昨年の鈍化から反転したのが特徴的です。日高・藤ヶ谷・レインボーなど29コース中10コースが値上がりしました。50万円以上も八王子・袖ヶ浦・龍ヶ崎など23コース中8コースの値上がりで1.3%上昇しました。

相場性商品の指数推移 (2000年末=100)



ゴルフ場の法的整理件数推移

年	事業者数	コース数	負債総額	年	事業者数	コース数	負債総額	年	事業者数	コース数	負債総額
91	2		4,066	02	98	130	30,239	13	10	10	672
92	3	3	1,626	03	80	132	20,192	14	13	14	525
93	6	5	4,304	04	82	110	19,239	15	17	19	1,111
94	3	2	237	05	71	80	14,004	16	16	16	744
95	6	6	2,120	06	52	59	5,781	17	9	9	329
96	4	2	1,216	07	41	48	6,199	18	13	15	539
97	9	29	4,501	08	30	32	3,949	19	6	6	547
98	11	14	5,094	09	26	29	2,656	20	4	4	227
99	27	20	6,416	10	26	27	1,485	21	3	3	107
00	25	26	12,076	11	26	27	2,085	22	7	7	58
01	57	63	14,464	12	26	44	3,110	合計	809	991	169,931

*事業者数: 申請件数 コース数: 既設 負債総額: 億円 (一季出版調べ)

会員権価格は底離れ
なお一層の会員魅力策を

会員権相場はコロナ禍でのゴルフ人気を追い風に躍進し、2000年末の単純平均価格を100とする指数は今年の3月末時点で53までに回復しました。

16、19年の大底の40前後を脱したとはいえ、株や土地などの相場性商品に比べて依然として低水準に甘んじています。それぞれの指数は日経平均が上下動を繰り返しつつも200を超え、公示価格も13年初を底に88まで伸びるなど大きく水をあけられ、かつてみられた会員権価格と株価との連動性も影を潜めています。

これは、2000年の民事再生法施行を契機に会員制ゴルフ場の法的整理が相次いだことが影響しています。その後も明確な保護策が施されず、未だ会員権の信頼感は回復していません。

近年、ゴルフ場の法的整理は縮小傾向にありますが、バブル経済崩壊後の累計では約200万人の会員が犠牲になったと推計されます。

相場は自律回復しており会員志向が定着している現在、会員の権利保全策や諸費用の軽減など一層の会員魅力の向上による入会促進が求められます。こうした施策による会員権相場の安定・上昇は会員の資産保全にもつながります。